



Wise FAXNET 2008.4

< 新「経審」の衝撃 目標通り点数がとれますか? >

自己資本額・平均利益額(X2) 評点については、「中小業者の層で極端な差がつかないように評点テーブルを設定」(平成19年5月17日 中建審ワーキンググループ第3回経審改正専門部会、平成20年1月「建設業法施行規則等の改正について」総合政策局建設業課)したとありますが、この言葉の意味は「あまり点数を与えないようにして、極端な差がつかないように」したと考えなくてはならないようです。

先月号では自己資本額について、完工高(X1) 評点の点数減少分をどれだけカバーできるかについて考えてみましたので、今月号では平均利益額について考えてみます。下表及び右下の図は、完工高(X1) がそれぞれの各階層の金額であるときの評点と、同じ評点となる平均利益額の金額(千円未満切り上げ)を示したものです。そして、下表内の右欄はその平均利益額と同じ評点となる完工高(X1) との割合を示しています。たとえば、完工高(X1) が5億円ですと評点は902点になります。今回の改正で、X1 評点(工事種類別年間完成工事高)の係数が0.35から0.25に減少しましたので、P点(総合評定値)換算で90.2点下がります。その分を他の指標でなんとか取り戻したいと考えるのが人情です。X2 評点は、係数が0.05増えましたので、X1 評点と同じ評点になれば0.05分取り戻せます。(ただし、完工高5億円未満の層では、点数も下げられましたので、無理ですが...)そこで、この場合に902点となる平均利益額は4億5,312万5千円になります。(自己資本額については先月号参照)そして、4億5,312万5千円÷5億円 90.6%となります。

工事種類別 平均完工高(X1)	評点	平均利益額が(X1)評点と同じ になる金額 (千円以下切り上げ)	平均利益額 ÷ 完工高(X1)
1,000億円	2,268	235億 993万4千円	23.5 %
800億円	2,156	198億 2,857万2千円	24.8 %
600億円	2,057	170億 円	28.3 %
500億円	1,971	146億 975万7千円	29.2 %
400億円	1,883	124億 6,341万5千円	31.2 %
300億円	1,796	105億 3,763万5千円	35.1 %
250億円	1,722	90億 5,769万3千円	36.2 %
200億円	1,648	76億 8,852万5千円	38.4 %
150億円	1,573	64億 5,901万7千円	43.1 %
120億円	1,510	55億 円	45.8 %
100億円	1,449	46億 7,088万7千円	46.7 %
80億円	1,386	38億 9,130万5千円	48.6 %
60億円	1,337	33億 5,869万6千円	56.0 %
50億円	1,287	28億 4,259万3千円	56.9 %
40億円	1,237	23億 9,166万7千円	59.8 %
30億円	1,188	19億 8,571万5千円	66.2 %
25億円	1,138	16億 2,857万2千円	65.1 %
20億円	1,100	13億 7,500万 円	68.8 %
15億円	1,064	11億 5,675万7千円	77.1 %
12億円	1,027	9億 6,190万5千円	80.2 %
10億円	989	7億 8,333万4千円	78.3 %
8億円	951	6億 2,500万 円	78.1 %
6億円	927	5億 3,571万5千円	89.3 %
5億円	902	4億 5,312万5千円	90.6 %
4億円	869	3億 5,675万7千円	89.2 %
3億円	828	2億 5,238万1千円	84.1 %
2億5,000万円	804	2億 208万4千円	80.8 %
2億円	776	1億 5,000万 円	75.0 %
1億5,000万円	743	1億 266万7千円	68.4 %
1億2,000万円	718	7,263万2千円	60.5 %
1億円	699	5,416万7千円	54.2 %
8,000万円	677	3,666万7千円	45.8 %
6,000万円	650	2,050万 円	34.2 %
5,000万円	634	1,328万6千円	26.6 %
4,000万円	615	871万8千円	21.8 %
3,000万円	592	577万 円	19.2 %
2,000万円	563	205万2千円	10.3 %
1,000万円	519	-	-

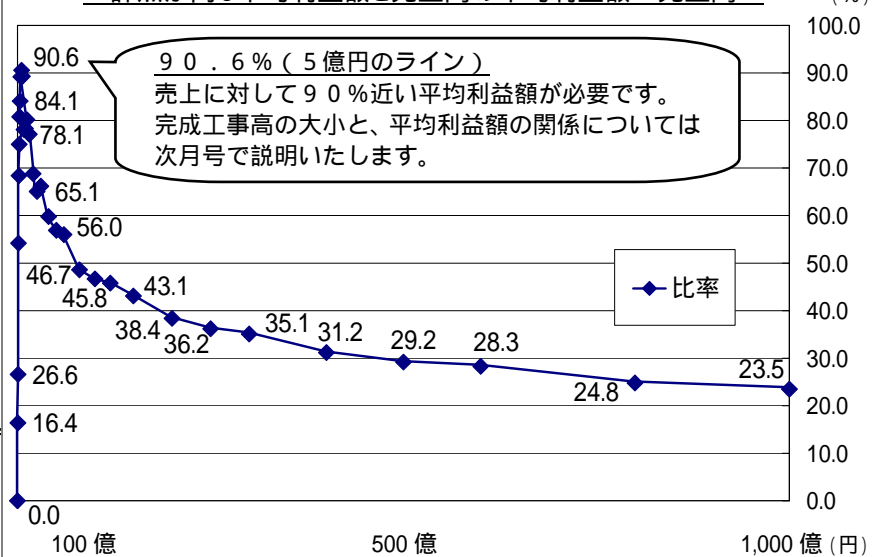
この例のように、X2 評点で取り戻すのは容易ではありません。5億円の完工高の会社が4億5,300万円ほどの平均利益額です。平均利益額とは、当年度の営業利益に減価償却実施額を加えた額及び前年度の営業利益に減価償却実施額を加えた額の二期平均です。改正前の売上高営業利益率(X1)の上限値が7.4%であったことを考えてもここですべてを取り戻すのはほぼ不可能です。

もうひとつの特徴は、完工高5億円を頂点としてそれ以上の層では、完工高が大きいくほど、平均利益額÷完工高の割合が下がる傾向にあることです。大きな会社ほど点数を取り戻す可能性が高いと考えられます。完工高(X1)1,000億円超の会社は完工高(X1)で大きく点数が下げられていますので、こうなるのも理解できますが、その下の階層も割合が下がるのは釈然としないものがあります。

やっぱり、完工高が大きくなるとダメなのかなあ。完工高競争をやめたはずではなかったのかなあといつもの嘆き節になってしまいました。

WISENET編集部 松村 清(税理士)

< 評点と同じ平均利益額と完工高の平均利益額 / 完工高 >



Wisdom 資料請求(無償) Wisdom デモ CD 希望(無償)
送信先宛名変更(右欄に変更後の宛名をご記入ください)
今後「Wise FAXNET」送信不要 今後「Wise FAXNET」はメールで希望
FAX 送信はこちらまで **0269-65-4745**

資料・デモをご希望の方は、下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名とご担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	ご役職・部署名
TEL	FAX
今後メールでの送信をご希望される場合は下記にアドレスをご記入下さい。	
e-mail	